

2026年10月14日

西川町 × ENJOYBOUSAI 有限会社西谷 災害時における物資の供給平常時における防災活動等の協力 に関する防災協定を締結します！

～2026年10月21日（水）9時～西川町イノベーションハブ TRAS にて～

西川町（町長：菅野大志）は、災害時に実施する応急対策に対して生活物資の供給を円滑に行うことで町民生活の早期安定を図ることを目的として、有限会社西谷（山形市本町／代表取締役西谷真一）と、災害時における物資の供給、防災活動等の協力に関する協定を結びます。

2026年10月21日（水）9時～西川町イノベーションハブ TRAS にて協定式を行うと共に、今年西川町が新たに導入をした町民の災害時の生活をより充実させるためのアイテム「あったかフードボックス」のご紹介とデモンストレーションをいたします。

1. 防災協定締結式 日時・会場

日時：10月21日（水） 9：00～9：30

場所：にしかわイノベーションハブ TRAS（西川町大字間沢）

参加者：有限会社西谷

代表取締役 西谷 真一 様

取締役 西谷 友里 様



2. 防災協定の概要・目的

西川町は、災害時に実施する応急対策に対して生活物資の供給を円滑に行うことで町民生活の早期安定を図ることを目的として、有限会社西谷と、災害時における生活物資の供給に関する協定を結びます。

有限会社西谷は特定の防災用品を販売するメーカーではありません。その立場を活かし、メーカーの垣根を越え、災害経験者の声を集約し世界観やテーマを定めた生活者が求めるおいしい非常食、便利な防災グッズをボックスに詰めた商品や断水時に便利なグッズなど、「防災を楽しむ体験」を山形から全国へ届けて参りました。

今回「より充実した町の備蓄品の備えの強化」と「災害時のみならず、日常にも防災を溶け込ませていく」というお互いの想いが合致し、協定を結ぶ運びとなりました。



（参考）【あったかフードボックス】の紹介

1. おいしい非常食の「収納」と「温め」が、これ一台で！

普段は食品の「収納容器」として、災害時には水だけで温め可能な「加熱容器」になります。

2. レンジ不要、水だけで温められて、繰り返し使える

電子レンジ不要、発熱剤に水を注ぐと発生する高温の蒸気で、ボックス内の食品を短時間で温めることができます。加熱に必要なのはカップ1杯(180cc)の水だけです。

3. 使い方はたったの3ステップ

- ①中ケースに温める食品を入れ蓋をする。
- ②発熱剤を外ケースに置き、袋で計量した水を注ぐ。
- ③食品を入れた中ケースを重ね、温まるまで待つ。

